

自ら学び 共に創る

主体的に学び しっかり考え 互いに高めあい

よりよい社会を創造する力を育てます



# 中山中学校だより

〒226-0013 横浜市緑区寺山町 653 番地 21 Tel.(045)931-2108

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nakayama/>

＝令和5年9月21日発行＝



## 汗と涙！ そして個性と天才

こうちょう やまが ともやす  
校長 山我 智康

今年<sup>ことし</sup>は記録<sup>きろく</sup>的な猛暑<sup>もうしょ</sup>でした。大変<sup>たいへん</sup>な暑さ<sup>あつさ</sup>の中<sup>なか</sup>、運動部<sup>うんどうぶ</sup>はこれまでの練習<sup>れんしゅう</sup>の成果<sup>せいこ</sup>を発揮<sup>はつき</sup>し、市大会<sup>しだいかい</sup>・県大会<sup>けんたいかい</sup>さらに、関東大会<sup>かんとうたいかい</sup>で活躍<sup>かつやく</sup>してくれました。文化部<sup>ぶんかぶ</sup>も各<sup>かく</sup>コンクール<sup>こんくーる</sup>等で成果<sup>せいこ</sup>をあげ、教科<sup>きょうか</sup>の発表<sup>はっぴょう</sup>や地域<sup>ちいき</sup>のボランティア<sup>など</sup>等<sup>な</sup>、幅広い活動<sup>はばひろかつどう</sup>を夏休み<sup>なつやすみ</sup>中<sup>ちゆう</sup>も取り組ん<sup>とりくんで</sup>でくれました。

少しでも生徒<sup>すこ</sup>の励み<sup>せいと</sup>になればと思<sup>はげ</sup>い、応援<sup>おおい</sup>や挨拶<sup>おうえん</sup>に駆けつけ<sup>あ</sup>ました。全<sup>すべて</sup>ての活動<sup>かつどう</sup>に顔<sup>かお</sup>を出<sup>だ</sup>せませんでした。その都度<sup>つど</sup>学校<sup>がっこう</sup>HP<sup>こうしん</sup>を更新<sup>こうしん</sup>しました。HP写真<sup>しやしん</sup>では、生徒<sup>せいと</sup>の表情<sup>ひょうじょう</sup>を載<sup>の</sup>せることができ<sup>か</sup>ませんが、「次<sup>つぎ</sup>の一球<sup>いっきゅう</sup>、次<sup>つぎ</sup>の音<sup>おと</sup>、次<sup>つぎ</sup>の動き<sup>うごき</sup>」に向けた真剣<sup>まけん</sup>な眼差し<sup>まなざし</sup>が今<sup>いま</sup>も脳裏<sup>のうり</sup>に焼き付<sup>や</sup>いています。汗<sup>あせ</sup>を拭<sup>ぬぐ</sup>い、声<sup>こゑ</sup>を掛<sup>か</sup>け合<sup>あ</sup>い、一<sup>ひと</sup>つの思<sup>おも</sup>いとなる姿<sup>すがた</sup>は大変<sup>たいへん</sup>美しく感動<sup>かんどう</sup>的<sup>てき</sup>でした。

最後<sup>さいご</sup>は、敗<sup>やぶ</sup>れ、悔<sup>くや</sup>しさと高揚感<sup>こうようかん</sup>が入<sup>い</sup>り混<sup>まじ</sup>じった嗚咽<sup>おえつ</sup>と涙<sup>なみだ</sup>する姿<sup>すがた</sup>を見て、会場<sup>かいじょう</sup>を後<sup>あと</sup>にしました。家<sup>いえ</sup>で家族<sup>かぞく</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>、学校<sup>がっこう</sup>で担任<sup>たんんにん</sup>の先生<sup>せんせい</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>、部活動<sup>ぶかつどう</sup>の顧問<sup>こもん</sup>の先生<sup>せんせい</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>、保健室<sup>ほけんしつ</sup>で養護<sup>ようご</sup>の先生<sup>せんせい</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>、地域<sup>ちいき</sup>の大人<sup>おとな</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>、塾<sup>じゅく</sup>の先生<sup>せんせい</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>・・・皆<sup>みな</sup>さん全<sup>ぜん</sup>部<sup>ぶ</sup>違<sup>ちが</sup>います。また、友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>も仲良<sup>なかよ</sup>しグルー<sup>な</sup>プとそうでないグルー<sup>な</sup>プ、仲良<sup>なかよ</sup>しグルー<sup>な</sup>プでもあの子<sup>こ</sup>とこの子<sup>こ</sup>に見<sup>み</sup>せる顔<sup>かお</sup>は違<sup>ちが</sup>います。どれが本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>の自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>でしょうか？

素<sup>そ</sup>質<sup>しつ</sup>や才<sup>さい</sup>能<sup>のう</sup>を含<sup>ふく</sup>めた「個<sup>こ</sup>性<sup>せい</sup>」は、画<sup>かく</sup>一<sup>いつ</sup>的<sup>てき</sup>に自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の内<sup>ない</sup>部<sup>ぶ</sup>に存<sup>ぞん</sup>在<sup>ざい</sup>してはな<sup>な</sup>く、常<sup>つね</sup>に他<sup>た</sup>者<sup>しや</sup>との干<sup>かん</sup>渉<sup>しょう</sup>作<sup>さく</sup>用<sup>よう</sup>によ<sup>よ</sup>って個<sup>こ</sup>性<sup>せい</sup>がで<sup>で</sup>るのではな<sup>な</sup>いでしょう。中<sup>なか</sup>山<sup>やま</sup>中<sup>ちゆう</sup>とい<sup>い</sup>う集<sup>しゅう</sup>団<sup>だん</sup>に属<sup>ぞく</sup>し、学<sup>がく</sup>級<sup>きゅう</sup>や部<sup>ぶ</sup>活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>の中<sup>ちゆう</sup>で他<sup>た</sup>者<sup>しや</sup>（顧<sup>かん</sup>問<sup>もん</sup>や仲<sup>ちゆう</sup>間<sup>かん</sup>）や環<sup>かん</sup>境<sup>けい</sup>（種<sup>しゆ</sup>目<sup>もく</sup>）との関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>の中<sup>ちゆう</sup>で、多<sup>た</sup>様<sup>よう</sup>な自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>が変<sup>へん</sup>化<sup>か</sup>しなが<sup>な</sup>ら新<sup>あたら</sup>しい自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>が<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>れて「個<sup>こ</sup>性<sup>せい</sup>」が現<sup>あら</sup>わ<sup>わ</sup>てくるのです。この夏<sup>なつ</sup>の体<sup>たい</sup>験<sup>けん</sup>や新<sup>あたら</sup>しい遭<sup>そう</sup>遇<sup>ぐう</sup>をへて掴<sup>つか</sup>んだ今<sup>いま</sup>の自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の「個<sup>こ</sup>性<sup>せい</sup>」は、ま<sup>ま</sup>だ<sup>だ</sup>未<sup>み</sup>体<sup>たい</sup>験<sup>けん</sup>の関<sup>かん</sup>連<sup>れん</sup>性<sup>せい</sup>によ<sup>よ</sup>って新<sup>あたら</sup>しい「個<sup>こ</sup>性<sup>せい</sup>」とな<sup>な</sup>ることでしょ<sup>う</sup>。

【天才<sup>てんさい</sup>になる | 万<sup>まん</sup>時<sup>じかん</sup>間の法<sup>ほう</sup>則<sup>そく</sup>】とい<sup>い</sup>うものがあります。天<sup>てん</sup>才<sup>さい</sup>と呼<sup>よ</sup>ば<sup>ば</sup>れる人<sup>ひと</sup>た<sup>た</sup>ちは生<sup>せい</sup>来<sup>らい</sup>の「才<sup>さい</sup>能<sup>のう</sup>や資<sup>し</sup>質<sup>しつ</sup>」によ<sup>よ</sup>るものではな<sup>な</sup>く、「その後<sup>ご</sup>に置<sup>お</sup>か<sup>か</sup>れた環<sup>かん</sup>境<sup>けい</sup>と練<sup>れん</sup>習<sup>しゅう</sup>量<sup>りやう</sup>」によ<sup>よ</sup>るこ<sup>こ</sup>とが<sup>お</sup>お<sup>お</sup>きいので、中<sup>なか</sup>山<sup>やま</sup>中<sup>ちゆう</sup>とい<sup>い</sup>う環<sup>かん</sup>境<sup>けい</sup>の中<sup>ちゆう</sup>で、み<sup>み</sup>な<sup>な</sup>さん<sup>さん</sup>は<sup>お</sup>お<sup>お</sup>き<sup>き</sup>く成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>して<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。あ<sup>あ</sup>とは、1<sup>まん</sup>万<sup>じかん</sup>時<sup>れん</sup>間<sup>しゅう</sup>の練<sup>れん</sup>習<sup>しゅう</sup>（学<sup>がく</sup>習<sup>しゅう</sup>）で<sup>す</sup>。1<sup>がく</sup>日<sup>しゅう</sup>3<sup>にち</sup>時<sup>じかん</sup>間<sup>ねん</sup>で1<sup>ねん</sup>年<sup>せん</sup>に千<sup>せん</sup>時<sup>じかん</sup>間<sup>ねん</sup>だ<sup>と</sup>1<sup>まん</sup>万<sup>じかん</sup>時<sup>れん</sup>間<sup>しゅう</sup>は1<sup>ねん</sup>0<sup>ご</sup>年<sup>ご</sup>後<sup>ねん</sup>にや<sup>あ</sup>っ<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>き<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>す。試<sup>し</sup>合<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>を含<sup>あ</sup>めた<sup>あ</sup>場<sup>あ</sup>数<sup>あ</sup>で、人<sup>ひと</sup>は<sup>てん</sup>プロ<sup>さい</sup>にな<sup>な</sup>り<sup>な</sup>り<sup>な</sup>り<sup>な</sup>天才<sup>さい</sup>にも<sup>な</sup>り<sup>な</sup>ま<sup>ま</sup>す。

そ<sup>そ</sup>して<sup>そ</sup>練<sup>れん</sup>習<sup>しゅう</sup>（学<sup>がく</sup>習<sup>しゅう</sup>）を<sup>お</sup>も<sup>も</sup>し<sup>し</sup>ろ<sup>ろ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>お</sup>も<sup>も</sup>い、「継<sup>けい</sup>続<sup>ぞく</sup>」するこ<sup>こ</sup>とが<sup>で</sup>き<sup>き</sup>る「忍<sup>にん</sup>耐<sup>たい</sup>力<sup>りよく</sup>」や「集<sup>しゅう</sup>中<sup>ちゆう</sup>力<sup>りよく</sup>」とい<sup>い</sup>う資<sup>し</sup>質<sup>しつ</sup>があ<sup>あ</sup>るか<sup>か</sup>ど<sup>ど</sup>うか<sup>か</sup>です。

【令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について】

4月に実施されました『中学3年生対象の全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせいたします。

学力状況調査

調査結果からみる中山中の特徴

今年度は国語と数学と英語（話すこと調査含む）が実施されました。各教科の結果は以下の通りです。

（平均正答率）	国語	数学	英語（記述）
中山中	75（75）	56（58）	52
神奈川県	70（69）	52（53）	50
全国	70（69）	51（51）	46

※（ ）は令和4年度の正答率  
※小数点以下は四捨五入

中山中学校では全国・神奈川県に対して高い状況が続いています。今年度は国語・数学・英語ともにすべての領域並びに観点の平均正答率が、全国・神奈川県に対して高い状況になっています。

生徒質問紙（生活意識調査）

生徒質問紙の結果を総合的に国や県の平均と比べてきました。これまで中山中は「自己有用感」と「規範意識」の項目が平均を下回っていて、本校の重点課題として取り組んできました。毎年、成果が表れてきて、今年度も平均を上回ることができました。

中山中の学校教育目標《自ら学び 共に創る》について関連した設問

- 【選択肢】
1. 当てはまる
  2. どちらかといえば、当てはまる
  3. どちらかといえば、当てはまらない
  4. 当てはまらない

【設問】自分には、よいところがあると思いますか

	1	2	3	4
中山中	39（40）	45（43）	10（11）	6（6）
神奈川県	38（37）	42（43）	14（15）	6（7）
全国	37（36）	43（43）	14（15）	6（7）

【設問】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

	1	2	3	4
中山中	82	16	3	0
神奈川県	77	18	4	1
全国	80	15	3	1

【設問】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

	1	2	3	4
中山中	20	51	21	8
神奈川県	17	44	26	13
全国	20	44	25	11

今年の3年生は、小学校時からコロナ禍での学校生活を送ってきました。そのような中で、「学校へ行くのは楽しいですか」「人の役にたつ人間になりたいと思いますか」の質問は、国や県に比べて高い回答でした。また、「教科の勉強は好きですか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」は、3教科とも大変高い回答でした。コロナ禍で困難なことも多くありましたが、学校で仲間と過ごすことの楽しさや学習への意欲の高まりを見ることができました。

一方で、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問は国や県に比べて低い回答でした。キャリア教育をはじめ、自分の進む道を考える進路学習を充実させていきたいと考えています。

学習面に関しては、家庭学習の時間も含めて、前向きに取り組んでいることがわかりました。今回は、英語に関する質問が多かったのですが、「授業でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」の質問は、全国に比べて10ポイント以上高い回答でした。思考力・表現力を伸ばす授業を今後も展開していきたいと思ひます。



9月1日は「防災の日」です。中山中学校では、夏休み明け初日の6時間目に地震を想定した防災訓練を行いました。猛暑の中、生徒の皆さんはふざけることなく真剣に取り組み、グラウンドまで迅速に避難することができました。安全を第一に「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」を合言葉にした行動でした。訓練後は教室で、クロームブックを使い「防災クイズ」で振り返りを行いました。この機会に各ご家庭でも、災害時の家族の避難場所や約束事について確認していただくと幸いです。天災は予知できませんので、職員一同も生徒のみなさんの安全を守るために気持ちを新たにする一日となりました。

がっきゅうどうぎ せいとそうかい  
学級討議・生徒総会

がっきゅうどうぎ がつ にち きん  
【学級討議】6月9日（金）



生徒総会に向けて、各クラスで学級委員を司会とし、各議案について話し合いを行いました。今年度は初めて議案書をクロームブックでダウンロードして使用しました。また、学級討議には画面に意見を出し合うジャムボードを使い、活発に意見を出し合っていました。質問に対して返答できるものは担当者がその場でわかりやすく説明していました。

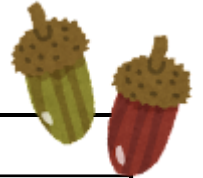
せいとそうかい がつ にち か  
【生徒総会】7月4日（火）



令和5年度の生徒総会が行われました。今年度も図書館から中継し、全校生徒は教室からの参加となりました。昨年度の報告を行い、今年度の生徒会本部及び各委員会の活動計画や予算案の提案後、質疑応答が行われました。全校生徒に向かって提案する姿は、緊張の中にも強い思いが伝わってきました。中山中学校での生活をより豊かなものにするために全校生徒が真剣に向き合っていました。

## 9月 行事予定

## 10月 行事予定



日	曜	昼	部	行事予定	日	曜	昼	部	行事予定
1	金	○	○		1	日			中山町まつり
2	土				2	月	○	○	
3	日			地域防災拠点訓練	3	火	○	○	3年アルバム写真撮影
4	月	○	×		4	水	○	○	
5	火	○	×		5	木	○	○	
6	水	○	×		6	金	○	○	連絡票配布
7	木	×	×	期末テスト	7	土			緑区生徒音楽会（吹奏楽部） 台村町祭り・寺山町祭り（宵宮）
8	金	△	○	期末テスト	8	日			寺山町まつり・上山町まつり
9	土				9	月	スポーツ の日		
10	日				10	火	○	○	期分式 生徒会認証式 ▲3年個人面談
11	月	○	○		11	水	○	○	※3年生は部活再登校
12	火	○	○		12	木	○	○	
13	水	○	×	▲緑区個別支援学級合同宿泊 3年学力テスト	13	金	○	○	▼
14	木	○	○	▼	14	土			
15	金	○	○	体操着販売	15	日			緑区民まつり
16	土				16	月	○	○	2年合唱リハーサル
17	日				17	火	○	○	1年合唱リハーサル
18	月	敬老の日			18	水	○	×	個別級市合同体育祭
19	火	○	○		19	木	○	○	3年合唱リハーサル
20	水	○	○		20	金	○	×	
21	木	○	○		21	土			3小学校運動会
22	金	○	○	生徒会立会演説会・選挙	22	日			
23	土	秋分の日			23	月	○	○	専門委員会
24	日				24	火	○	○	
25	月	○	○		25	水	○	○	中央委員会
26	火	○	×		26	木	○	○	
27	水	○	○		27	金	○	○	
28	木	△	×	緑区授業研	28	土			
29	金	× ○	再	3年英語検定	29	日			地域ふれあいフェスティバル
30	土			中山町まつり（宵宮）	30	月	○	○	七虹祭（校内発表）
					31	火	○	×	七虹祭（合唱）相模原市民会館